



次回開催

2026年7月 [予定]

東京ビッグサイト

— 2025年・秋 出展募集を開始予定 —

出展に関する詳細は事務局までお問い合わせください。

※出展募集開始時期が早まる場合があります。

お問い合わせ先

施設園芸・植物工場展(GPEC) 事務局
スマートアグリ ジャパン事務局
アクアポニックス・陸上養殖設備展事務局

〒100-0013 東京都千代田区霞が関1-4-2 大同生命霞が関ビル4F
TEL : 03-3503-7703 FAX : 03-3503-7620 MAIL : ofc@gpec.jp

www.gpec.jp
www.gpec.jp/saj/
www.gpec.jp/aqua/

GPEC

Greenhouse Horticulture &
Plant Factory Exhibition / Conference
施設園芸・植物工場展

2024
7.24 (水) WED → 26 (金) FRI
東京ビッグサイト 南1・2ホール



稼げる施設園芸、農業が変わる、日本が変わる

～ 本格的なスマート化時代の扉を拓く ～

結果報告書

同時開催展





目次

はじめに

- 開催概要 2
- 展示内容と構成 3
 - 主な展示内容
 - 出展分野割合
- 出展者一覧 4
- 会場MAP 5
- 出展者アンケート 7
 - GPEC/スマートアグリ ジャパン
 - アクアポニックス・陸上養殖設備展
- 来場者分析 10
 - 来場者数
 - 業種別比率
 - 地域別比率
- 来場者アンケート 11
- 併催行事 13
 - GPEC開会式
 - GPEC主催者特別展示コーナー
 - GPEC主催者セミナー
 - スマートアグリ ジャパン主催者セミナー
 - アクアポニックス・陸上養殖設備展主催者セミナー
 - 出展者プレゼンテーション
 - 出展者交流会
- 来場誘致 18

はじめに



一般社団法人
日本施設園芸協会
会長 大出 祐造

「施設園芸・植物工場展2024(GPEC)」は、2024年7月24日から26日の3日間、東京ビッグサイトにおいて開催され、成功裡に終了することができました。GPECは「施設園芸」と「植物工場」に特化した国内唯一の専門展示会として第8回目の開催を迎え、業界に着実に定着しているところで。今回も、企業・大学・研究組織・行政組織・各種団体など、201社・団体にご出展いただきました。来場者数は、前回の29,223名を大きく上回る41,564名となり、多くの皆様をお迎えして盛大に開催することができました。

農政の大きな変革の中で『稼げる施設園芸、農業が変わる、日本が変わる～本格的なスマート化時代の扉を拓く～』をテーマにし、業界の最新情報を提供するとともに、生産者の収量増加・品質向上・経営改善など、課題解決につながる展示に注力してまいりました。

特に、発展の著しいロボット、AI、IoT等の新技術を導入したスマート農業の展開が、施設園芸・植物工場に関連する様々の技術やシステムと連動していくことによって、急速に進む原油価格や農業資材等の物価高騰、さらには自然災害の頻発する厳しい環境の中でも、収益の向上に繋げていくなど、経営の規模拡大や団地化等に取り組みたいと考えている皆様に対し、有益な情報提供する場となり、業界の発展を支える存在としてその役割を果たすことができたと自負しております。

会場内の2カ所で開催された『主催者セミナー』では、業界のフロントランナーや海外の皆様による多彩なテーマの講演において、大変充実したプログラムが準備され、多くのご講演で立ち見となるなど盛況でした。『出展者プレゼンテーション』にも多くの出展企業が参加し、自社ブースでの説明と連携して、来場者に向けた効果的なアピールができたものと推察できました。

以上のように、展示会としての目標を達成でき、大成功だったと自己評価しております。これもひとえに出展各社ならびに農林水産省・経済産業省等の関係省庁・団体、関係各位のご協力の賜物と改めて感謝申し上げます。

ここに、今回の結果をご報告申し上げるとともに、2年後の次回GPEC2026に向け、より一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

1 開催概要

会 期	2024年7月24日(水)～26日(金)	会 場	東京ビッグサイト 南1・2ホール(10,000㎡)
開場時間	10:00～17:00	入場方法	WEB事前来場登録または招待券持参(無料)

GPEC 施設園芸・植物工場展

開催概要

名 称	施設園芸・植物工場展2024(GPEC) Greenhouse Horticulture & Plant Factory Exhibition / Conference
テ-マ	稼げる施設園芸、農業が変わる、日本が変わる～本格的なスマート化時代の扉を拓く～
主 催	一般社団法人 日本施設園芸協会
後 援	農林水産省、経済産業省、(一社)全国農業協同組合中央会(JA全中)、 全国農業協同組合連合会(JA全農)、農林中央金庫、(一社)全国農業会議所、(公社)全国農業共済協会、(株)日本政策金融公庫 (順不同)
共 催	アテックス(株)
協 賛	オランダ王国大使館、駐日イスラエル大使館経済部、千葉大学 園芸学部、(国研)農業・食品産業技術総合研究機構(農研機構)、 (一社)園芸学会、JA包装園芸資材協会、植物工場普及振興会、スマートアグリコンソーシアム、(一社)全国農業改良普及支援協会、 全国農業高等学校長協会、全国農業資材商業会、(一社)全国肥料商連合会、全国野菜園芸技術研究会、NPO法人 地中熱利用促進協会、 日本園芸農業協同組合連合会、(一社)日本花き卸売市場協会、(一社)日本果樹種苗協会、(一財)日本GAP協会、 (一社)日本経済団体連合会、(一社)日本種苗協会、(一社)日本植物工場産業協会、日本生物環境工学会、(一社)日本土壌肥力学会、 (一社)日本農業機械化協会、(一社)日本農業機械工業会、日本農業気象学会、(公社)日本農業法人協会、(一財)日本花普及センター、 日本ばら切花協会、日本ビニル工業会、(一社)日本有機資源協会、NPO法人 日本養液栽培研究会、(一財)日本立地センター、 (株)農協観光、農業施設学会、農業データ連携基盤協議会、(一社)農業電化協会、農業工業会、(一財)ヒートポンプ・蓄熱センター、 野菜流通カット協議会、青果物選果予冷施設協議会、NPO法人 植物工場研究会 (順不同)
出展者数	国内外175社・団体(共同出展含む)

GPEC2024実行委員

委員長 丸尾 達 (公財) 園芸植物育種研究所 理事長・所長	大出 祐造 (株)誠和。 会長	三浦 慎一 トヨタネ(株) 取締役 執行役員
鈴木 富隆 全国農業協同組合連合会 耕種資材部 次長	福田 晴久 ネボン(株) 代表取締役社長	村田 求之 カネコ種苗(株) 施設部 部長代理
石黒 信生 イノチオアグリ(株) 代表取締役社長	江口 義昌 AGCグリーンテック(株) 取締役	有光 大幸 有光工業(株) 代表取締役社長
小堀 武光 東都興業(株) 常務取締役 営業本部長	渋谷 宏忠 全国野菜園芸技術研究会 会長	五十嵐武彦 サンキンB&G(株) 取締役 農芸事業部 事業部長
鈴木 格方 渡辺パイプ(株) グリーン事業部 事業部長	鈴木 健嗣 (株)大仙 代表取締役社長	岩崎 泰永 明治大学 農学部 教授
高山弘太郎 豊橋技術科学大学 大学院 工学研究科 機械工学系教授	東出 忠嗣 農研機構 野菜・花き研究部門 所長	大賀 泰光 タキロンシーアイ(株) アグリ事業部 事業部長
		久保田光昭 アキレス(株) 農業資材販売部 部長
		近藤 了裕 (株)サカタのタネ 執行役員 国内営業本部 副本部長
		柴本 勝敏 MKVアドバンス(株) 取締役社長
		中野 明正 千葉大学 園芸学研究院 宇宙園芸研究センター 教授
		中村 謙治 エスベックミック(株) 大阪オフィス 本部長
		古田 成広 フルタ電機(株) 代表取締役社長
		福嶋 正人 ヤンマーアグリ(株) 経営企画部 東京企画室 専任部長
		増澤 佳浩 (株)ボタアグリサービズ(株) 農業施設部 部長補佐

(順不同・敬称略・役職は2024年9月時点)

同時開催展

Smart Agri Japan スマートアグリ ジャパン

開催概要

名 称	スマートアグリ ジャパン2024
主 催	スマートアグリ ジャパン運営委員会
共 催	(一社)日本施設園芸協会/アテックス(株)
出展者数	9社・団体



AQUAAGRI TECH アクアポニックス・陸上養殖設備展

開催概要

名 称	アクアポニックス・陸上養殖設備展2024
主 催	アクアポニックス・陸上養殖設備展推進協議会
共 催	アテックス(株)
出展者数	17社・団体



② 展示内容と構成

主な展示内容

GPEC 施設園芸・植物工場展

ハウス・太陽光利用型植物工場(栽培施設・資材)

ハウス本体、ハウス構成部材(部室、外装、内装フィルム(農ビ、農PO、フッ素フィルム、耐候板 など)、保溫・遮光資材、防虫・防風・防獣ネット、防草シート、被覆材構成部材、部品

人工光型植物工場(栽培施設・資材)

植物工場本体、植物工場本体構成部材、部品

付帯設備・機器

空調設備、換気設備、給水設備、排水設備、照明設備、水処理設備、肥料散布機、収穫機、搬送機、温度管理システム、流通システム、集出荷施設、集出荷機器・資材、予冷施設・機器、貯蔵庫・施設、乾燥機、加工施設、加工機器・資材 など

施設園芸用

カーテン装置、自然発光・強制発光装置(天窓、側窓、谷窓、妻窓、換気扇、養液層など)、局所加温装置、冷・暖房装置、太陽光発電システム、バイオマス技術、SDGs対応、省エネ対策、光合成促進装置(試験装置発生装置など)、漏水・取水装置、防除・土壌消毒装置(動力噴霧機、無人防除機 など)、養液栽培・養液土壌栽培装置、栽培ベッド、果樹栽培装置、栽培ベンチ装置(移動ベンチ など)、補光装置(電球装置を含む)、収穫機器・選別資材、フィンファン発生装置、ハウス清掃用品、洗浄機、その他 付帯設備・機器・装置

植物工場用(太陽光利用型・人工光型)

有機質・無機質肥料、液体肥料、植物活性剤、除草剤、ミツバチ、天敵昆虫・生物、土壌改良剤、土壌診断サービス、殺虫剤、消毒剤、消毒サービス など

生産管理機器・資材

有機質・無機質肥料、液体肥料、植物活性剤、除草剤、ミツバチ、天敵昆虫・生物、土壌改良剤、土壌診断サービス、殺虫剤、消毒剤、消毒サービス など

種苗、育苗資材、育苗システム

種子・種苗、接木・育苗関連資材、生育状況観察システム、播種機、鉢 など

農業ICT

IoT、AI、クラウドサービス、生産管理システム、栽培管理システム、遠隔監視システム、端末機器、ビッグデータ解析技術 など

流通・加工・包装

計量機、梱包機、選果機、選別機、洗浄機、異物検出・除去装置、包装機器・資材、搬送器具、搬送機械、温度管理システム、流通システム、集出荷施設、集出荷機器・資材、予冷施設・機器、貯蔵庫・施設、乾燥機、加工施設、加工機器・資材 など

業務効率化提案

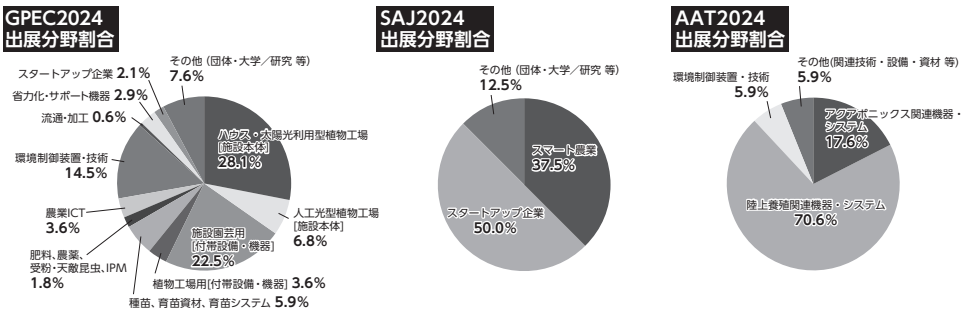
省力化・サポート機器

スタートアップ企業

スマート農業

スタートアップ企業

出展分野割合 (小間数ベース)



③ 出展者一覧

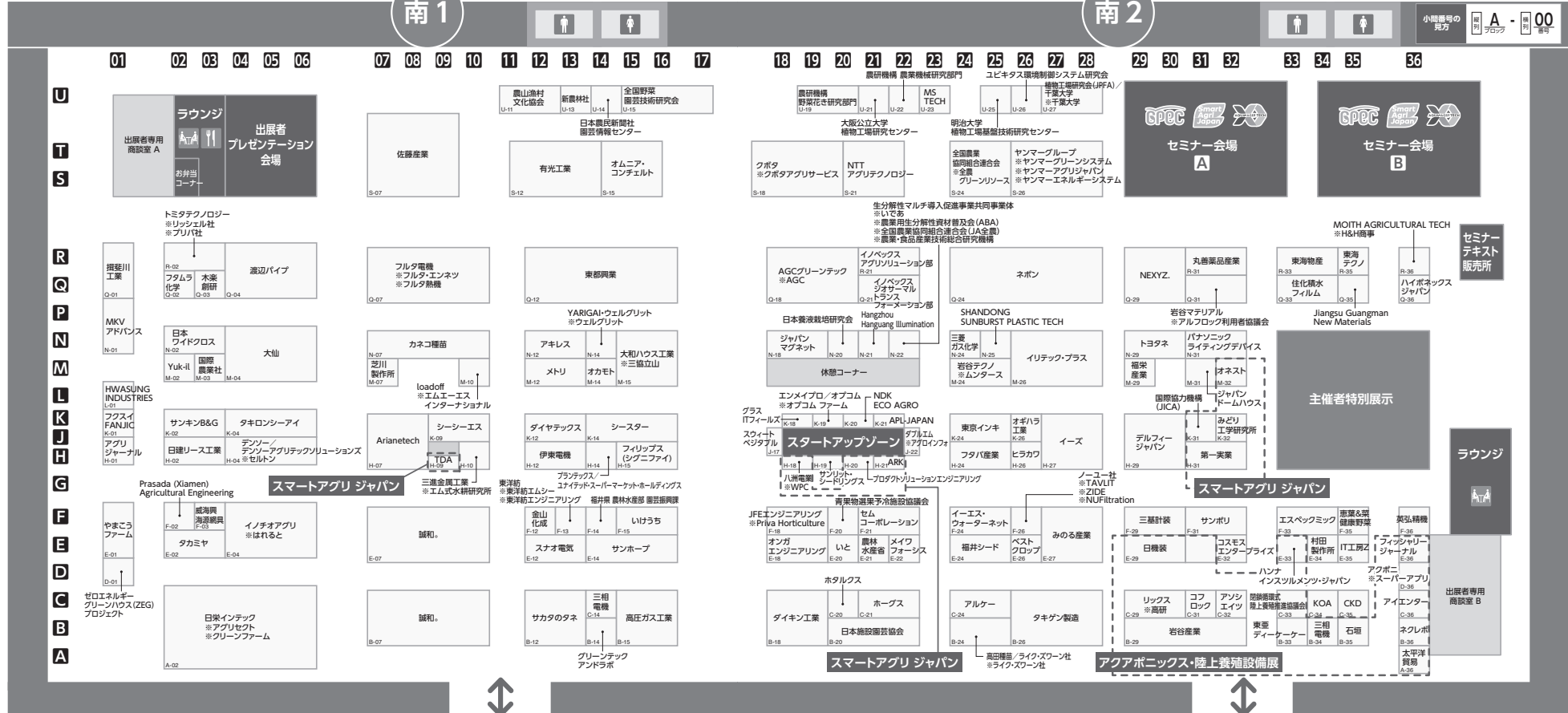
社名50音順、海外企業は末尾
※共同出展、同時開催展を含む

あ	ARK	H-21	高田種苗/ライク・ズワーン社	B-24
	アイエンター	C-36	※ライク・ズワーン社	
	IT工房Z	E-35	タカミヤ	E-02
	アキレス	N-12	タキゲン製造	B-26
	アグボ	D-36	タキロンシーアイ	K-04
	※スーパリアブリ		ダブルム	J-22
	アグリジャーナル	H-01	※アグロインフォ	
	アソシエイツ	C-32	TDA	H-09
	有光工業	S-12	デルフィージャパン	H-29
	アルケー	C-24	デンソーデンソーアグリテックソリューションズ	H-04
	オーエス・ウォーターネット	F-24	※セリオン	
	オーエス	H-17	東洋エンジニアケー	B-33
	いけうち	F-15	東海テクノ	R-35
	石垣	B-35	東海物産	R-33
	いと	E-20	東京インキ	K-24
	伊東電機	H-12	東都興業	Q-12
	イノオアグリ	E-04	東洋紡	F-13
	※はろと		※東洋紡工業シ	
	イモビス	R-21	※東洋紡エンジニアリング	
	イノベクス	Q-21	トミダテクノロジー	R-02
	※イノベクスジョイサマーマルクスフォーメーション部		※リッセル社	
	垣根川工業	Q-01	※アリア社	
	イリテック・プラス	M-26		
	岩倉産業	B-29	トヨタネ	N-29
	岩谷テック	M-24	日栄・アグリセクト	A-02
	※ムセンター		※アグリセクト	
	岩谷マテリアル	Q-31	※クリンファーム	
	※アルブロック利用者協議会		日機装	E-29
	英弘精機	F-36	日建リース工業	H-02
	AGCグリーンテック	Q-18	日本施設園芸協会	B-20
	※AGC		日本農林新聞社 園芸情報センター	U-14
	APL JAPAN	K-21	日本農林試験院	N-20
	エスベックミック	F-33	日本農林試験院	N-02
	NDK ECO AGRO	K-20	日本農林試験院	Q-29
	NTTアグリテック/ロジ	S-21	NEXYZ	B-36
	MKVアドバンス	N-01	ネクレボ	Q-24
	エンメアプロ/オプコム	K-19	ネボン	Q-24
	※オプコムファーム		農研機構 農業機械研究部門	U-22
	大阪公立大学植物工場研究センター	U-21	農研機構 野菜生産研究部門	U-19
	オカモト	M-14	岡山造村文化協会	U-11
	オキハラ工業	K-26	農林水産省	E-21
	オネスト	M-32	ノーユ社	F-26
	オムニア・コンチエルト	S-15	※TAVLIT	
	オクティン/ニシアリング	E-18	※ZIDE	
	金山化成	F-12	※NIFiltration	
か	カナコ種苗	N-07	※ハイネックスジャパン	Q-36
	木葉創研	Q-03	パナソニック ライティングデバイス	N-31
	クボタ	S-18	ハンナ インストルメンツ・ジャパン	E-33
	※クボタアグリサービス		ヒラカワ	H-26
	クラシエホーム	K-18	フィッシュリージャーナル	E-36
	グリーンテックアンドラボ	B-14	フィリップス(イケア/ニトリ)	H-15
	康葉&京 健康野菜	F-35	福井県 農林水産部 園芸振興課	F-14
	高圧ガス工業	B-15	福井シード	F-24
	KOA	C-34	福楽産業	M-29
	国際協力機構(JICA)	K-31	フクスイ FANJIC	K-01
	国際農業社	M-03	※FAN JIC	
	コスモエニタープライズ	E-32	フタノ産業	H-24
	コフコック	C-31	フタノ化学	Q-02
さ	サカタのタネ	B-12	プランテックス/ユナイテッド・スーパーマーケット・ホールディングス	H-14
	佐藤産業	S-07	フルタ電機	Q-07
	三葉針葉	F-29	※フルタ・エンネツ	
	サフキンB&G	K-02	※フルタ熱機	
	三進金属工業	H-10	アロケアドリブレーションエンジニアリング	H-20
	※Iム式水耕研究所		閉鎖施設/陸上養殖推進協議会	C-33
	三相電機	C-14	ベストグローブ	E-26
	三相電機	B-34	ホーグス	C-21
	サンホー	E-14	ホテルプス	C-20
	サンホリ	F-31	丸善薬品産業	R-31
	サツリット・シーリングス	H-19	三豊ガス化学	N-24
	CKKD	C-35	みどり工学研究所	K-32
	シーシーエス	K-09	みのる産業	E-27
	シースター	K-14	村田製作所	E-34
	JFEエンジニアリング	F-18	明治大学 植物工場基盤技術研究センター	U-25
	※Priva Horticulture		メイワフォーシス	E-22
	三井製作所	M-07	メト	M-12
	シヤバドームハウス	M-31	八洲電業	H-18
	ジャパンマグネット	N-18	※ WPC	
	植物工場研究会 (UPFA)/千葉大学	U-27	やまごうファーム	E-01
	※千葉大学		YARIGAI・ウェルグリップ	N-14
	新農林社	U-13	※ウェルグリップ	
	スクウェア/ベジタブル	J-17	ヤンマーグループ	S-26
	スナオ電気	E-12	※スマートグリーンシステム	
	生化成水フィルム	Q-33	※セマアグリアン	
	青果物選果予冷施設協議会	F-20	※セマアグリアンシステム	
	生分解性マルチ導入促進事業共同事業体	N-22	※セマアグリアンシステム	
	※いであ		コビキタス環境制御システム研究会	U-26
	※農業用生分解性資材普及会(ABA)		リックス	C-29
	※全国農業協同組合連合会(JA全国)		※農研	
	※農業・食品産業技術総合研究機構		loadif	M-10
			※Iムエースインターナショナル	
	譲和	B-07/E-07	渡辺パイプ	Q-04
	セムコーレーション	F-21	Arianetech	H-07
	ゼロエネルギーグリーンハウス(ZEG)プロジェクト	D-01	Hangzhou Hanguang Illumination	N-21
	全国農業協同組合連合会	S-24	HWASUNG INDUSTRIES	L-01
	※全農グリーンリソース		Jiangsu Guangman New Materials	Q-35
	全田野園芸技術研究会	U-15	MOHIT AGRICULTURAL TECH	R-36
	ダイキン工業	H-31	※H&H商事	
	大仙	B-18	MS TECH	U-23
	太平洋貿易	M-04	Prasada (Xiamen) Agricultural Engineering	F-02
	アイゼックス	A-36	SHANDONG SUNBURST PLASTIC TECH	N-25
	大和ハウス工業	K-12	威海興海源網具	F-03
	※三協立山	M-15	Yuk-ii	M-02
た				

南1

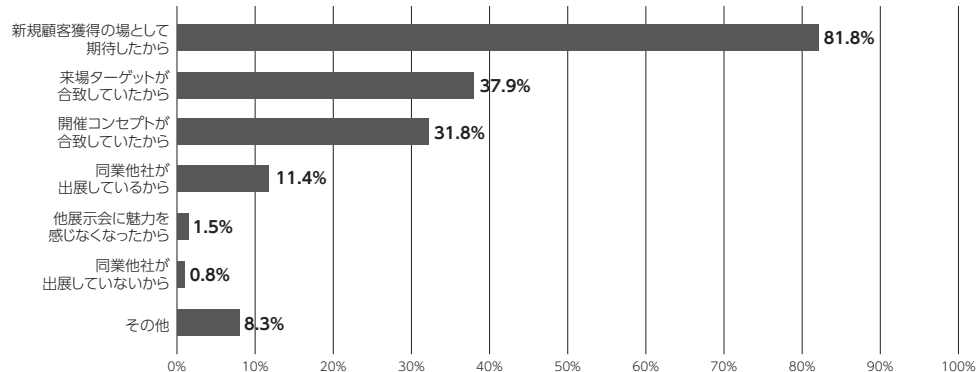
南2

小冊子の見方 A 00

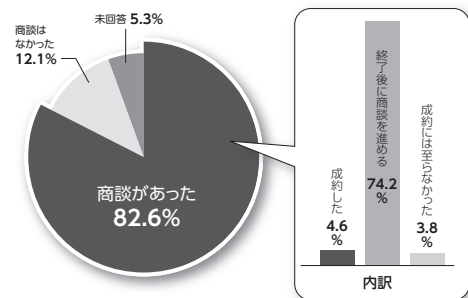


5 出展者アンケート(施設園芸・植物工場展/スマートアグリ ジャパン)

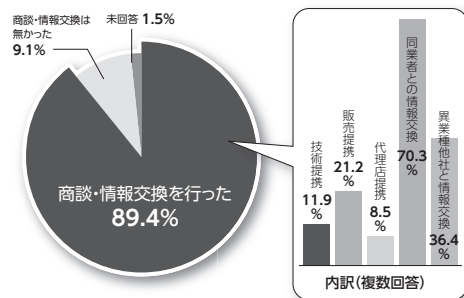
Q1 今回ご出展の理由は？(複数回答)



Q2 会期中における来場者との商談について



Q3 出展者同士の商談・情報交換は？



本展示会には「新規顧客獲得」を目的に出展を決めた企業・団体が8割を占めている。また、8割を超える出展者が会期中に商談があったと回答。展示会を通じて来場者や出展者同士との活発な情報交換が行われており、新たなビジネスの創出にも繋がっている。

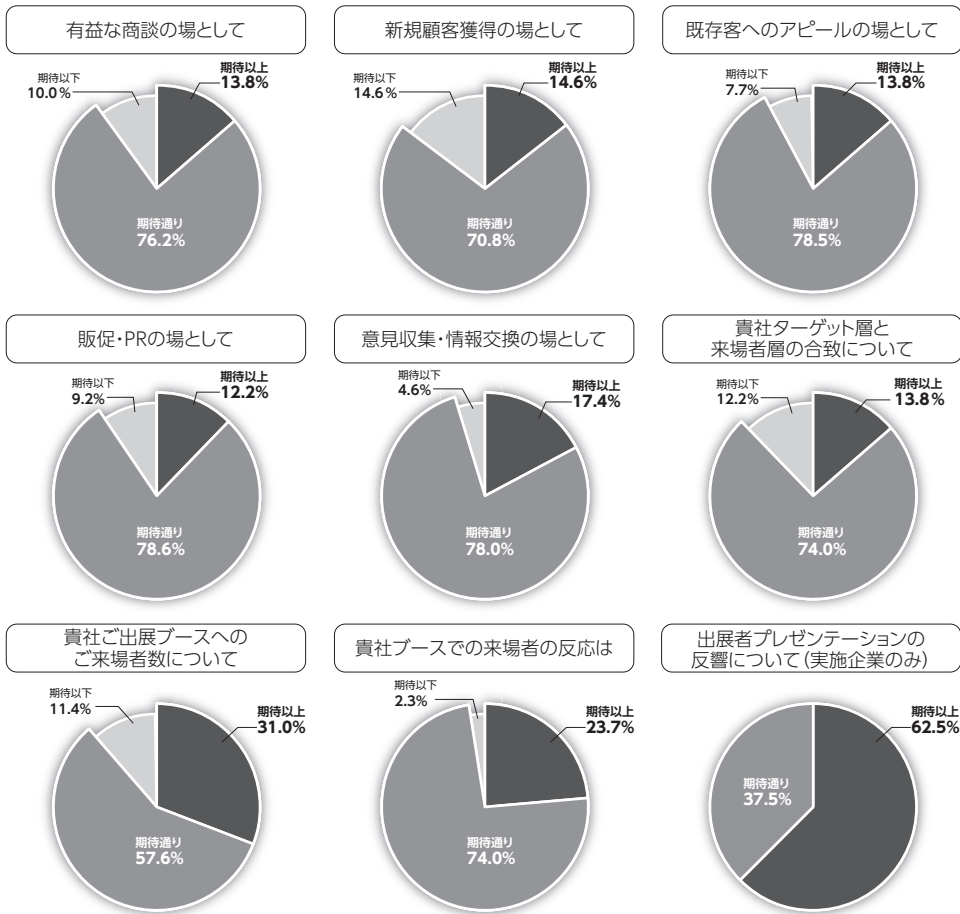
出展者の感想

良かった点

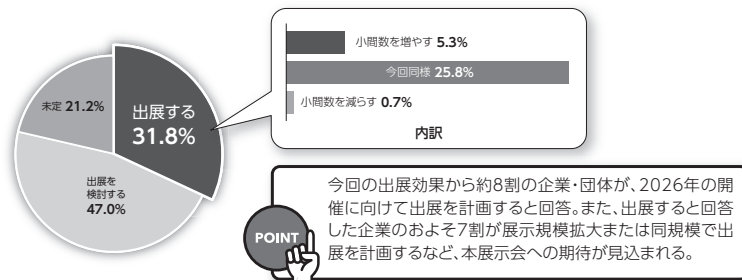


- ★遠方の方を含め、幅広い業種・生産者が来場していると感じた
- ★来場者数の質と多さに出展効果を感じた
- ★水産業の同時開催展が増え、新規の需要を伺えた
- ★主催者特別展示コーナーとの連動により、自社ブースへの誘導が効率的であった
- ★真剣に製品を見てくれる方の割合が高い
- ★同業他社との交流ができる
- ★出展者セミナーが満員の集客となり、効果を感じた
- ★自社製品をPR・商談する場として有意義であった

Q4 今回の出展に対する評価は？

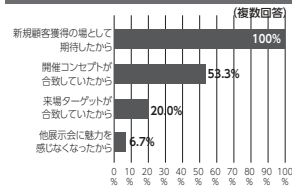


Q5 次回の出展参加について

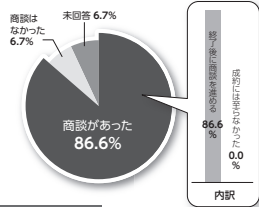


5 出展者アンケート(アクアポニクス・陸上養殖設備展)

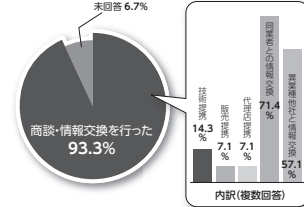
Q1. 今回ご出展の理由は?



Q2. 会期中における来場者との商談は?

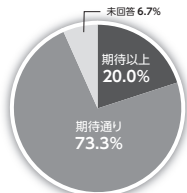
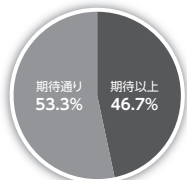
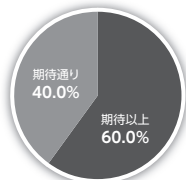


Q3. 出展者同士の商談・情報交換は?

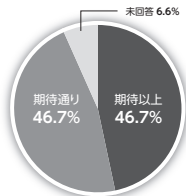


Q4. 今回の出展に対する評価は?

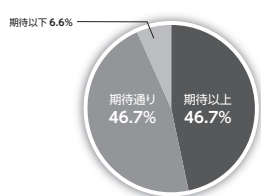
有益な商談の場として 新規顧客獲得の場として 既存客へのアピールの場として



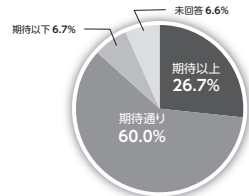
販促・PRの場として



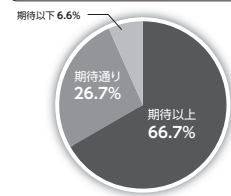
意見収集・情報交換の場として



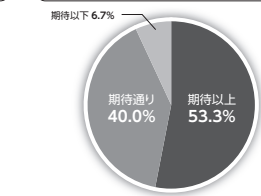
貴社ターゲット層と来場者層の合致について



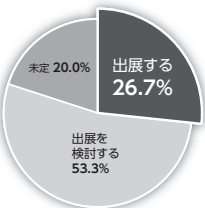
貴社ご出展ブースへのご来場者数について



貴社ブースでの来場者の反応は



Q5. 次の出展参加について



出展者の声

- ★異業種企業が「一次産業」との接点・繋がりを求めて来場される方が多い
- ★初出展でしたが、想定以上のブース集客であった
- ★陸上養殖に関心の高い来場者が多い
- ★農業関係者の来場者にも関心を持ってきて新規獲得につながった

6 来場者分析

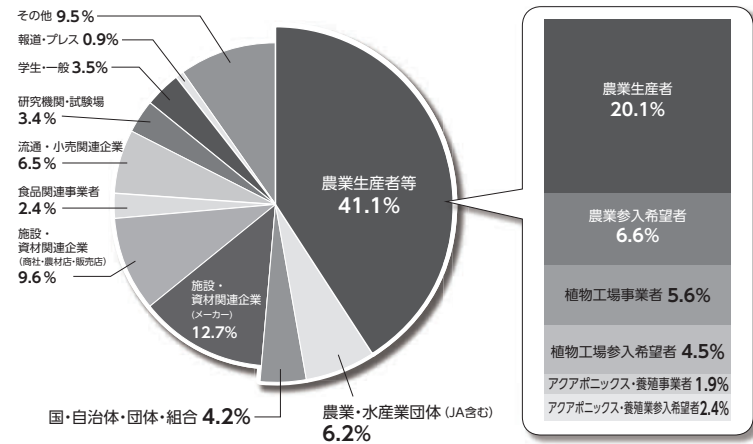
会期3日間での登録者数は16,261名、来場者数は41,564名となった。農業生産者をはじめ、新しく農業・水産業分野への関心を持つ来場者が多く訪れ、自社の課題解決や情報収集など本展示会で活発な交流と商談が行われた。

来場者数

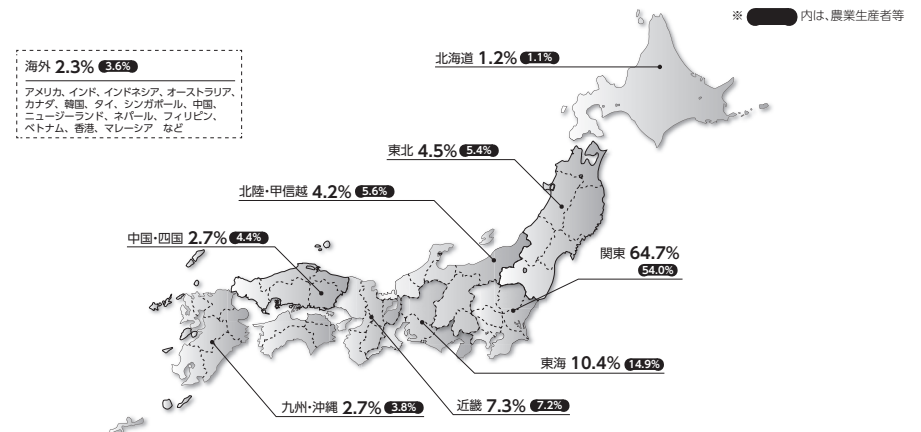
日付	天気	登録者数	来場者数
7月24日(水)	晴れ	4,879	11,399
7月25日(木)	晴れ時々雨	5,697	15,142
7月26日(金)	曇り	5,685	15,023
合計		16,261	41,564

*登録者数：氏名・会社名等の来場登録を行った人数。会期中1カウントとし、再入場は含まない。
*来場者数：来場した延べ人数(再入場を含む)

業種別比率

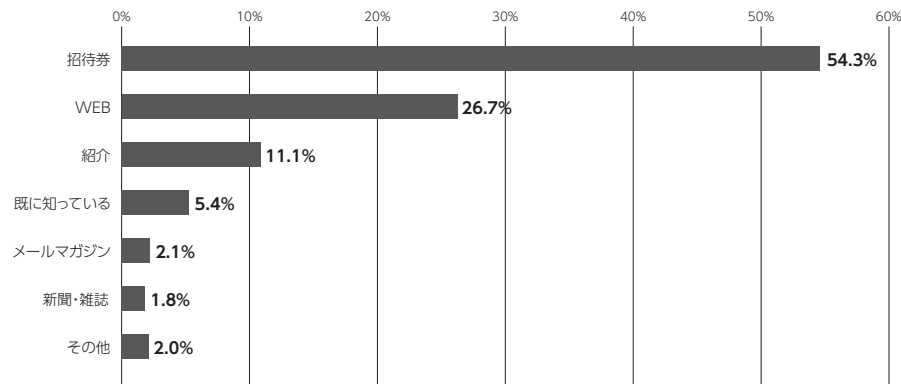


地域別比率

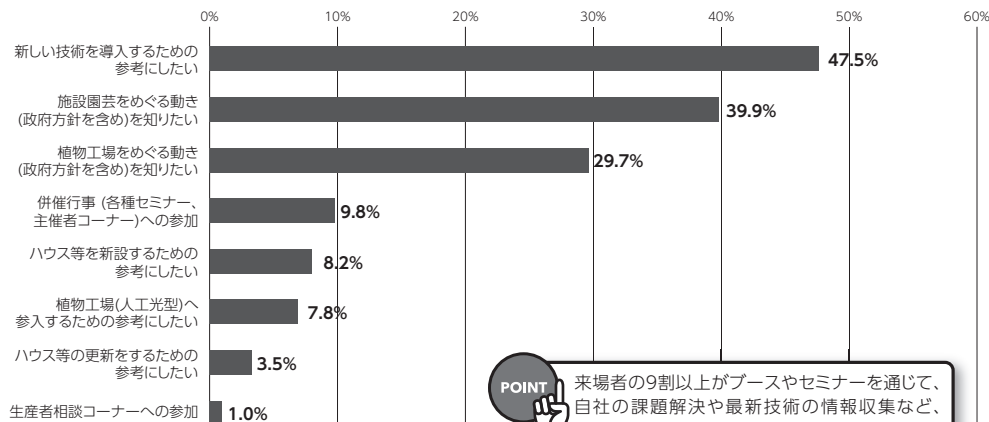


7 来場者アンケート

Q1 本展を何を通して知りましたか? (複数回答)

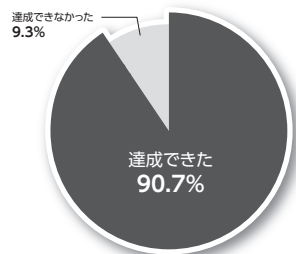


Q2 本展に来場された目的は? (複数回答)

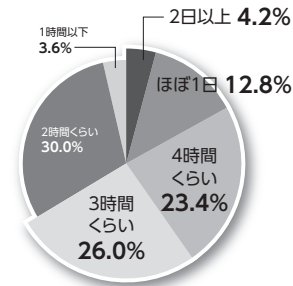


POINT 来場者の9割以上がブースやセミナーを通じて、自社の課題解決や最新技術の情報収集など、当展示会への来場目的を満たしたと回答。

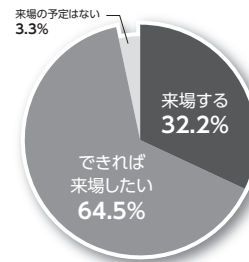
Q3 ご来場の目的は達成されましたか?



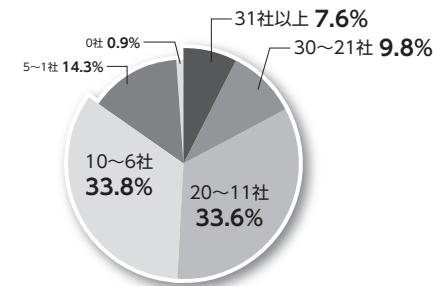
Q4 会場での滞在時間は?



Q6 次回の来場予定は?



Q5 会場での訪問社数は?



POINT 来場者の多くが、新しい技術や情報を求めて次回も来場を予定しており、期待の高さがうかがえる。



来場者のコメント

良かったところ

- ★出展者へ自社課題の質問ができ、良い場所と感じた【農業生産者】
- ★農業を知れる機会となった【農業新規参入事業者】
- ★農業の最先端技術を発見できた【農業団体】
- ★陸上養殖の情報を得ることが出来た【漁業団体】
- ★多岐に渡る製品の展示があり、飽きることなく会場を回れた【国・自治体】
- ★アクアポニックス関連の展示が充実していた【設計会社】

- ★実物を展示している企業が多く、各製品を深く知ることができた【学生】
- ★植物工場や陸上養殖に専門外でも丁寧に説明してもらえた【新規参入希望者】
- ★ロボットの新技术と、そのデメリットをカバーするような育種検討など、新たな視点を学べた【農業施設・資材関連企業】
- ★スタートアップブースがまとまっており、分かりやすかった【農業生産者】

次回への要望

- 養殖/アクアポニックス/農業は繋がる事もあり、今後も継続して開催してほしい【漁業・養殖業団体】
- アクアポニックスに関する情報を増やしてほしい【植物工場事業者】
- 海外出展者ブースに日本語を話せる方がいると良い【農業生産者】

- AIやロボティクス関連の展示がもっと増えて欲しい【学生】
- 大規模向けでなく、実際の農家向けの展示を増やしてほしい【農業生産者】
- 東京以外の地域でも開催してほしい【農業生産者】
- 休日での開催も検討してもらいたい【農業生産者】
- GPEC以外のセミナー資料も販売してほしい【アクアポニックス・陸上養殖参入希望者】

8 併催行事

GPEC開会式

日時 2024年7月24日(水) 9:30~10:00 **会場** 東京ビッグサイト南展示棟2階コンコース特設会場

- 開会の辞
- 来賓紹介
 - 農林水産省 農産局園芸作物課長 長峰 徹昭 様
 - 経済産業省 経済産業政策局 地域経済産業政策課長 下世古 光可 様
 - (一社)全国農業協同組合中央会 農政部 畜産・青果対策課長 吉澤 龍一郎 様
 - 全国農業協同組合連合会 常務理事 日比 健 様
 - 農林中央金庫 営業企画部 部長 花島 鉄太郎 様
 - (一社)全国農業会議所 専務理事 稲垣 照哉 様
 - (公社)全国農業共済協会 常務理事 徳井 和久 様
 - (株)日本政策金融公庫 農林水産事業本部 特別参与 吉永 俊雄 様

- 主催者紹介
 - (一社)日本施設園芸協会 会長 大出 祐造
 - GPEC実行委員長
 - (公財)園芸植物育種研究所 理事長 丸尾 達
- 主催者挨拶
 - (一社)日本施設園芸協会 会長 大出 祐造
- 来賓挨拶
 - 農林水産省 農産局園芸作物課長 長峰 徹昭 様
 - 経済産業省 経済産業政策局 地域経済産業政策課長 下世古 光可 様
- テープカット
- 閉会の辞



GPEC主催者特別展示コーナー

●農業データ活用連携プラットフォームコーナー

産地の農業経営体で取得されたデータを集約・統合し、営農管理システム上で一元管理する最新動向が紹介された。また、全国規模の連携により、農業生産・経営・営農指導の一層の効率化と技術開発の低コスト化・加速化をもたらすデータ駆動型農業を支える新しい体制(高知IoP・農機API・WAGRIの連携)も動画・パネル・ジオラマ展示を通じて紹介された。



●アควアポニックス仕様ハウス展示

同時開催展「アควアポニックス・陸上養殖設備展」との連動企画。アควアポニックス仕様のコンパクトハウスの中で、水耕栽培とチョウザメ等の養殖状況を展示し、来場者から多数の関心が寄せられた。



展示協力.....

エスペックミック(株)、ジャパンドームハウス(株) (順不同)

●収穫ロボット実機・パネル・動画視聴コーナー

同時開催展「スマートアグリ ジャパン」との連動企画。東京大学深尾研究室にて研究開発されている「ブドウ収穫ロボット」の実機展示のほか、AGRIST(株)とinaho(株)で開発されているロボットを動画・パネルにて展示を行った。

展示協力.....

AGRIST(株)、inaho(株)、東京大学深尾研究室 (順不同)

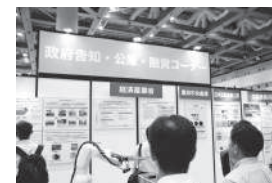


●政府告知/公庫・融資紹介パネル展示

政府機関による農業分野の施策や取り組み事例、今後の業界指針や生産者にとって重要な公庫・融資・共済情報のパネル展示を行った。

展示協力.....

農林水産省、経済産業省、農林中央金庫、(株)日本政策金融公庫、(公社)全国農業共済協会 (順不同)



●生産者相談コーナー

4つのテーマのスペシャリストが、生産者・農業参入希望者の悩みや課題について助言・提案を行った。

相談テーマ.....

テーマ	7月24日(水)	7月25日(木)	7月26日(金)
①補助金等	農林水産省 園芸作物課 担当官		
②栽培技術	吉岡技術士事務所	代表 吉岡 宏氏	
	前(一社)日本施設園芸協会 理事兼参事	岡田 邦彦氏	
③コンサルティング	(株)デルフィージャパン 担当者		
④スマートグリーンハウス	スマートグリーンハウス事業 担当委員		



相談内容と回答 (一部抜粋).....

- Q1: 新規で農業を始めるにあたり、何をしたら良いのか。【農業参入希望者】
- A1: まず始めに品目もしくは作付け地域を絞り、その県や市区町村に相談するよう案内。
- Q2: いちごハウスの新設にあたり、利用可能な補助金を教えて欲しい【農業参入希望者】
- A2: 「強い農業・担い手づくり総合支援交付金」および「産地生産基盤パワーアップ事業 施設園芸エネルギー転換枠」を紹介。
- Q3: 外国人の補助金関連について【農業生産者】
- A3: 新規就農者育成総合対策について、該当地域のHP含めて紹介。
- Q4: 多品目栽培で自営カフェを運営する際、いかに情報収集をすれば良いのか。【農業参入希望者】
- A4: 生産体系、販売形態(自家利用)など、通常の生産農家とは真逆な点もある。かつ、WEB情報は信憑性に欠ける情報もあるので、農山漁村文化協会のテキスト等で基本的な知識を着けるよう助言
- Q5: 人工光型植物工場におけるイチゴの収量増加をするには【植物工場事業者】
- A5: 施設外で苗を栽培するよう提案。
- Q6: 植物工場を維持するにあたり、新たな方向性を探している【大学・研究】
- A6: 今後期待される研究内容(収量予測)と考える。オランダの例のように、企業や関係者と共同研究することで研究費を集めることも期待できるが、施設リノベーションが必要と説明。
- Q7: 異業種企業が植物工場を始める際に、どのような方法があるのか【植物工場参入希望者】
- A7: 完全人工型植物工場または自然光型植物工場の2つが考えられるが、エンジニアと栽培担当の2つの側面から考えるよう説明。
- Q8: トマト栽培における曇り対策を知りたい【農業生産者】
- A8: 花落ち対策として、かん水を初期段階でしっかりと行うこと。また、外気導入や遮熱剤の導入を提案。
- Q9: イチゴ栽培を行う中で、冬場のLAI低下に悩んでいる【農業生産者】
- A9: 「着果負担を軽減する…夜冷の早い作型と遅い作型を組合せる」、「初期段階の高温対策…9月~10月前半は1日中遮光カーテンを閉める」、「光合成を促進させる…適度な摘葉は控える」の3点を助言。
- Q10: 生産管理のクラウドサービス(DX化)について、植物工場や施設園芸の取り組みを知りたい【システム会社】
- A10: ダッシュボードというツールを利用し、データの見え方をしている。また、植物の動きをデータ化するシステムは今後価値があるのではないかと。
- Q11: 生産規模拡大における注意点を知りたい【農業生産者】
- A11: 近隣生産者や住民への合意の取り方、部会販売と個人販売のメリット・デメリットを説明。

8 併催行事

GPEC主催者セミナー

7月24日(水)	[GP-01] 10:20~11:00 みどりの食料システム戦略の推進(施設園芸のゼロエミッション化に向けて) 農林水産省 東海農政局長(前・大臣官房審議官(技術・環境)) 秋葉 一彦 氏
	[GP-02] 11:15~12:00 施設園芸・植物工場の生産性向上に有効な「育種」などの最新技術について (公財)園芸植物育種研究所 理事長 丸尾 達 氏
	[GP-03] 12:15~13:00 赤羽いちご園での「これまでに取り組んできたこと」と「これから目指していくこと」 赤羽いちご園 農園主 赤羽 耕一 氏
	[GP-04] 15:00~16:40 海外公演 デジタル・グリーンハウス 効率的で持続可能な園芸のためのデータ駆動型栽培 - ※通訳あり Delphy B.V.(デルフィー B.V.) Delphy Digital (デルフィーデジタル) Klaas van Egmond(クラス・ファン・エグモンド) 氏

7月25日(木)	[GP-05] 10:30~11:15 栽培コンサルタントからみた施設園芸での持続可能な発展に必要なこと (株)デルフィージャパン ホーティカルチャースペシャリスト 斉藤 章 氏
	[GP-06] 12:30~14:00 【第1部】環境に配慮しながら利益を上げるデジタル施設園芸 豊橋技術科学大学・愛媛大学 大学院工学研究科 教授・大学院農学研究科 教授 高山弘太郎 氏 【第2部】農林水産業のカーボンニュートラルに向けた農山漁村エネルギーマネジメントシステム(VEIMS)およびゼロエネルギーグリーンハウス(ZEG)の研究開発 (国研)農業・食品産業技術総合研究機構 農村工学研究部門 資源利用研究領域 地域資源利用・管理グループ長 石井 雅久 氏
	[GP-07] 15:15~16:25 海外公演 韓国植物工場をリードするプランティファームの現状と今後の方向性 ※日本語講演 プランティファーム(株) 研究所・所長 李 公仁 氏
	[GP-08] 16:00~16:45 夢は農業大国に負けないスマート農業をする 和総農園(株) 代表取締役 物江 直人 氏

7月26日(金)	[GP-09] 10:30~11:15 【農業×異業種】社員の約60%が異業種出身。新時代の農業を創るワンストップ・ソリューション (株)たねまき 取締役副社長 兼 COO 前田 亮斗 氏
	[GP-10] 11:30~12:40 海外公演 スマート温室での栽培経験の共有 ※通訳あり 台湾農業試験場 作物科学部門 研究員兼任部門長 王 毓華 氏
	[GP-11] 14:45~15:30 宇宙と地球でサステナブルな食料生産システムを実現 (株)TOWING 代表取締役 西田 宏平 氏
	[GP-12] 15:45~16:30 ゼロからの農業参入～1ha太陽光利用型植物工場の黒字化～ NXアグリグロウ(株) 代表取締役 諸井 奈美 氏

聴講者の声

セミナー・プレゼンテーションを聴講した感想は？

- ・アクアポニックスの可能性に興味を湧いた【農業生産者】
- ・国のみどりの食料システム戦略の政策について、知識を得られた【学生】
- ・農家の努力と挑戦を知ることができ、今後の励みになった【農業生産者】
- ・植物工場等の施設だけでなく、品種改良も進めるべきとの意見が響いた【農業施設・資材関連企業】
- ・セミナー聴講後にブース訪問することで深く理解することが出来た【研究機関・試験場】
- ・新規参入に役立つ情報を得られた【食品関連事業者】
- ・アクアポニックスの概要・課題・今後の方向性を理解でき、大変勉強になった【その他】
- ・スマート農業の動向と問題点等について、参考になった【農業生産者】
- ・新技術について知ることができ、研究室でも検討したいと感じた【学生】
- ・セミナーを通じて、近年の技術動向を知ることができた【農業参入希望者】

スマートアグリ ジャパン主催者セミナー

7月24日(水)	[SA-01] 13:15~14:45 パネルディスカッション キャベツ自動栽培・収穫からみたスマート農業と流通最適化 コーディネーター 東京大学 大学院情報理工学系研究科 教授 深尾 隆則 氏 パネリスト ヤンマーアグリ(株) 開発統括部 技監・先行開発部 部長 日高 茂實 氏 パネリスト 鹿追町農業協同組合 営農部審議役 今田 伸二 氏 パネリスト (株)K PRODUCE 取締役会長 木村 幸雄 氏
	[SA-02] 15:45~16:30 農業向けロボットの現状と実用化を阻むカベ シヤコ精機(株) 開発本部 本部長 二宮 和則 氏

7月25日(木)	[SA-03] 11:45~12:30 農業データ連携基盤WAGRIの最新情報 (国研)農業・食品産業技術総合研究機構 農業情報研究センター WAGRI推進室 室長 鶴 薫 氏
	[SA-04] 14:15~15:00 スマート農業は誰のために必要なのか? ノウカノタネ(株) 代表取締役 鶴 竣之祐 氏

7月26日(金)	[SA-05] 13:00~14:30 パネルディスカッション 常に見場を科学する研究開発型の農業カンパニー コーディネーター 農研機構 農業情報研究センター センター長 村上 則幸 氏 パネリスト (株)浅井農園 代表取締役社長 CEO 浅井雄一郎 氏 イチゴ特化型垂直統合モデルと農業技術のスパイラルアップシステムの構築と展開について パネリスト (株)GRA 代表取締役 CEO 岩佐 大輝 氏
----------	--

アクアポニックス・陸上養殖設備展主催者セミナー

7月24日(水)	[AA-01] 11:15~12:00 NTTグリーン&フードによる食料問題・環境問題解決へのチャレンジ NTTグリーン&フード(株) 代表取締役社長 久住 嘉和 氏
	[AA-02] 13:00~13:45 2025年大阪・関西万博「生命の器」から考えるアクアポニックスの未来 大阪府立大学 名誉教授 増田 昇 氏
7月26日(金)	[AA-03] 11:30~12:15 日本におけるアクアポニックス市場の現状と課題、今後の可能性 (株)アクポニ 代表取締役 濱田 健吾 氏

次回、どのようなテーマ・分野のセミナーを希望しますか？

- ・スマート農業技術に関して【農業生産者】
- ・露地栽培向けの新技術について【研究機関・試験場】
- ・今後20年を見据えた内容を消費面含めて聞きたい【流通・小売関連】
- ・海外における農業の技術トレンドについて【農業生産者】
- ・アクアポニックス/陸上養殖関係のニーズ・最新動向【国・自治体】
- ・園芸に取り組む担い手の育成【国・自治体】
- ・バイオスティキュラントについて【農業生産者】

その他、聴講したい主なキーワード

AI・ロボット技術、アクアポニックス、アシストスーツ、遺伝子関連(DNAマーカー)、カーボンニュートラル、獣害虫対策、高温対策、コスト削減、栽培工夫(トマト、キュウリなど)、植物工場、太陽光発電、補助金関連、陸上養殖技術 など

8 併催行事

出展者プレゼンテーション

7月24日(水)		
11:15~11:45	[EX-02]	ネボンが真摯に施設園芸に向き合って50年 ~皆様の悩みを地道に解決してきた技術とサービス~ ネボン(株)
12:45~13:15	[EX-04]	環境にやさしい栽培、肥料削減を実現!「トヨタネ排液リサイクルシステム」 トヨタネ(株)
13:30~14:00	[EX-05]	デンソーとセルトンが目指すスマート農業 ~施設園芸技術と自動化技術の融合~ (株)デンソー フードバリューチェーン事業推進部 部長 大原 忠裕 氏
14:15~14:45	[EX-06]	Seiwa and Svensson - Creating the future together 【出展者:(株)誠和。】 AB Ludvig Svensson President of AB Ludvig Svensson Anders Ludvigsson 氏
7月25日(木)		
11:15~11:45	[EX-10]	ネボンが真摯に施設園芸に向き合って50年 ~皆様の悩みを地道に解決してきた技術とサービス~ ネボン(株)
12:45~13:15	[EX-12]	LED植物工場を発展させる高速栽培法「白-青交互照射」のご紹介 グリーンテック&ラボ(株) 代表取締役 鈴木 廣志 氏
13:30~14:00	[EX-13]	東都の創意工夫製品が地球温暖化に抗う!ソーラー換気・簡易カーテン・夏のほうれん草 東都興業(株) 営業一部 北澤 優平 氏 / 成川 一平 氏 / 坪井 悠希 氏
14:15~14:45	[EX-14]	誠和。の価値は栽培と商品の融合 (株)誠和。 商品開発部 開発課 課長 上山 彬一 氏
15:00~15:30	[EX-15]	施設農業環境での葉量を推定 ~近赤外光透過を利用した葉面積指数(LAI)測定装置~ メイワフォーシス(株)
7月26日(金)		
11:15~11:45	[EX-18]	ネボンが真摯に施設園芸に向き合って50年 ~皆様の悩みを地道に解決してきた技術とサービス~ ネボン(株)
13:30~14:00	[EX-21]	「次世代植物工場が実現する未来農業ビジネスとは」 (株)プランテックス 代表取締役社長 山田 耕資 氏 ユナイテッド・スーパーマーケット・ホールディングス(株) プログラムマネジャー 兼 経営戦略担当 兼 (株)カスミ 専務取締役 事業戦略担当 兼 マーケティング本部マネジャー 満行光史郎 氏
14:15~14:45	[EX-22]	LED植物工場を発展させる高速栽培法「白-青交互照射」のご紹介 グリーンテック&ラボ(株) 代表取締役 鈴木 廣志 氏



出展者交流会

日 時 2024年7月24日(水) 17:30~19:00 会 場 東京ビッグサイト内レストラン

- 開会の辞
- 主催者挨拶・乾杯
(一社)日本施設園芸協会 顧問 篠原 温
- 食事・歓談交流
- 中締め
GPEC2024実行委員長
(公財)園芸植物育種研究所 理事長 丸尾 達



9 来場誘致

主催者および事務局は、様々な広報活動を行った。

●業界紙誌への広告・記事掲載

生産者に広く講読されている業界紙誌を中心に、来場誘致広告を掲載。また、業界関連媒体各社にプレスリリースを送付し、展示会の最新情報を発信。さらに会期1カ月前には記者発表会を実施し、展示会の概要や見どころなどの情報提供を行うことで、各種媒体の記事掲載を働きかけた。

広告・記事掲載：アグリジャーナル、日本農業新聞、農機新聞、農村ニュース、全野研ニュース、日本農民新聞、施設と園芸、現代農業、園芸新聞、農経新報、日刊アグリ・リサーチ、熱産業経済新聞、水産経済新聞、フィッシャーリージャーナル (順不同・一部抜粋)

●WEB

公式サイトでは、主に出展者情報をはじめとし、セミナーやイベントなどの情報を発信した。公式サイトの出展者情報ページには、展示製品の写真・紹介動画の掲載や、カタログダウンロードなどの機能を用意した。会期前からより詳細な情報収集をできるように機能を拡充した。WEBからの事前来場登録を促し、同時にセミナー聴講登録も受け付けることで、閲覧者の来場意欲を喚起づけた。また、幅広い層に向けた情報発信を念頭に、農業関連の情報を扱うWEB媒体にも開催告知記事やバナー広告を掲載した。さらに、農水産業分野にターゲットを絞ったリスティング広告を掲載することで、新規の来場誘致にも注力した。

●メールマガジン

過去来場者、事前来場登録者などを中心にメールマガジンを定期的に配信(平均開封率：約30%)した。出展者の情報に加え、セミナーや主催者コーナーなどの併催行事の情報発信も行い、当日の来場誘致につなげた。また、業界関連媒体が配信するメールマガジンにも展示会情報を掲載し、来場層の拡大につなげた。

●招待券

出展者一覧やセミナースケジュール、併催行事など、展示会の魅力を余すことなく掲載した招待券を作成した。主催者、出展者、後援・協賛団体等の関係者を通じて、来場対象となる農業・水産業生産者、新規参入事業者を中心とした全国の業界関係者等に大量配布した。

